



令和元年 牧之原市 10 大ニュース



令和元年 12 月 25 日
牧之原市企画政策部情報交流課

■ 第 2 次総合計画後期基本計画スタート(4月)

一絆と元気が創る 幸せあふれみんなが集う NEXT まきのはら
5 月 1 日には改元婚を祝い臨時窓口を開設するなど「令和」への改元という大きな節目の年。牧之原市では第 2 次総合計画後期基本計画がスタートしました。この計画では人口や経済が縮小する社会においても持続可能なまちづくりを進める視点で「未来若者プロジェクト」など 3 つの戦略プロジェクトを優先的に取り組むとともに、各施策の事業についても着実な推進を図ります。



計画的・戦略的なまちづくりの指針

■ さざんかリニューアルオープン(4月)

子育て支援センター等の機能を拡充するとともに役割・機能が分散していた健康・福祉部署を集約。併せて空調設備の改修等を行い快適な空間にリニューアルしました。切れ目ない支援の実現や利便性の向上を図るなど地域全体で子育てを応援します。



さざんかリニューアル式典

■ 市道「大倉壺丁田線」完成！(5月)

交通渋滞の緩和や分散化、市内産業の支援を目的として整備を進めていた市道「大倉壺丁田線」が供用開始。既に供用を開始している周辺 2 路線とあわせ産業拠点周辺を結ぶネットワーク道路が整備されました。これらの整備等によりスズキ(株)相良工場の拡張計画が発表されるなどその効果が期待されます。



ネットワーク道路の整備効果に期待大

■ 中国サーフィンチームが長期強化合宿を実施(5月～6月)

2020 年東京五輪に向け、中国ナショナルサーフィンチームが 5 月から市内で 38 日間の強化合宿を行いました。選手やコーチら計 38 人が市内海岸等でトレーニング。今後もホストタウンのレガシーとして地域の活性化や交流人口の拡大に取り組めます。



静波海岸を拠点に楽しく真剣にトレーニング

■ 市内小中学校にエアコン整備完了(6月)

市内全ての小中学校の普通教室にエアコン整備を完了。昨年の猛暑を受け、当初計画前倒しで整備したもので、順次行ってきた市内全小中学校、148 教室へのエアコン整備が完了しました。運用開始に先立ち川崎小で「エアコン引き渡し式」を実施。児童からは「勉強に集中できる」など感謝の言葉がありました。



エアコンの涼しい風を受けて喜ぶ児童

■ 富士山静岡空港開港 10 周年(6月)

富士山静岡空港が開港 10 周年を迎え、記念式典やイベントが盛大に開催されました。2009 年に開港した同空港は雄大な富士山を眺めながら離着陸できる空の玄関口として多くの方に利用されています。今年度から民間による空港運営がスタート、さらにターミナルビルもリニューアルし便利で快適な空間になりました。



式典ステージでまちを PR するマスコット

■ 御前崎港に初めての客船(8月)

日本有数の豪華客船「ばしふいっく びいなす」が御前崎港に初寄港。「御前崎港客船誘致協議会」が誘致し、歓迎イベントで乗船客をもてなしたほか、地元飲食ブースなども出店し、多くの来場者で賑わいました。物流拠点として栄える港のさらなる活力創出を目指し、今後は海外客船の誘致にも取り組んでいきます。



初寄港した客船「ばしふいっく びいなす」

■ 台風 19 号襲来！市内でも大きな被害(10月)

県内に猛烈な風雨をもたらした台風 19 号。市内でも静岡空港で総雨量 382 ミリに達するなど記録的な豪雨となりました。市内 2 級河川では越水が発生し、床上、床下浸水等により多くの住家が被災しました。早期に災害復旧できるよう努めるとともに今回の教訓を生かし、引き続き安全・安心なまちづくりを推進します。



崩土で通行止めとなった市道(復旧済み)

■ 全国茶品評会で産地賞を受賞(11月)

第 73 回全国茶品評会の深蒸し煎茶の部において、4 年ぶりに、「産地賞」を受賞。生産者や JA など茶業関係者による高品質なお茶づくりへの取組が評価されました。今回の産地賞の受賞を広く情報発信し、来年度の皇室への献上茶謹製事業や販売促進など市内の茶業振興につなげられるよう取り組んでいきます。



愛知県で開催された授賞式

■ 田沼意次侯生誕 300 年記念事業を実施(通年)

江戸幕府老中、田沼意次侯生誕 300 年を記念して各種事業を実施。大祭では大名行列やステージでの催し、ブースでは地場産品等の販売が行われ、2 万人を超える来場者が秋の一日を楽しみました。「田沼再興宣言」のもと、賄賂政治家のイメージを払拭し、意次侯の功績顕彰と市民の誇りの醸成にも寄与することができました。



記念大祭 大名行列